

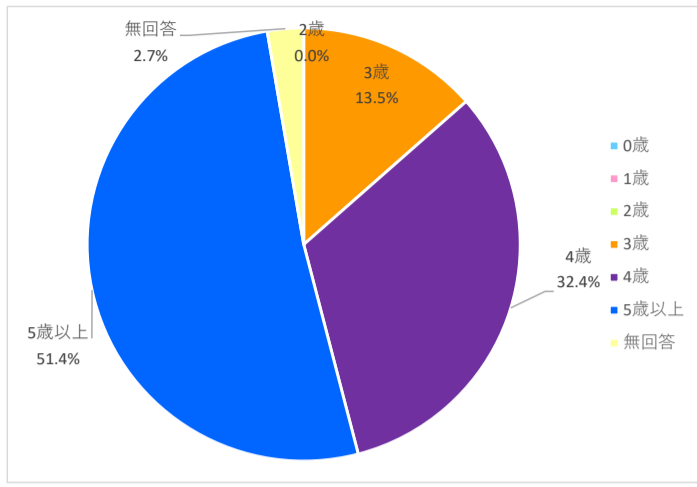
保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 3年1月29日

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール京都西院

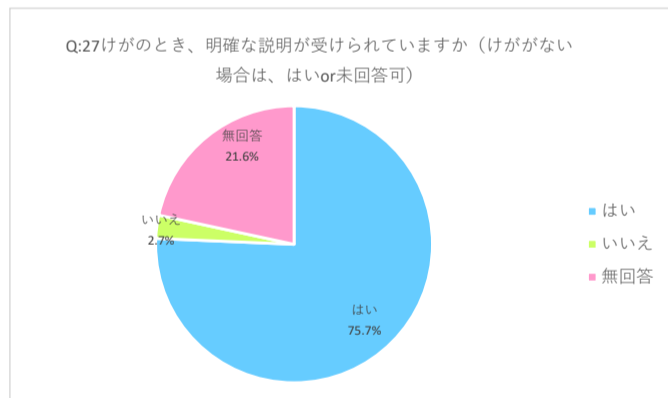
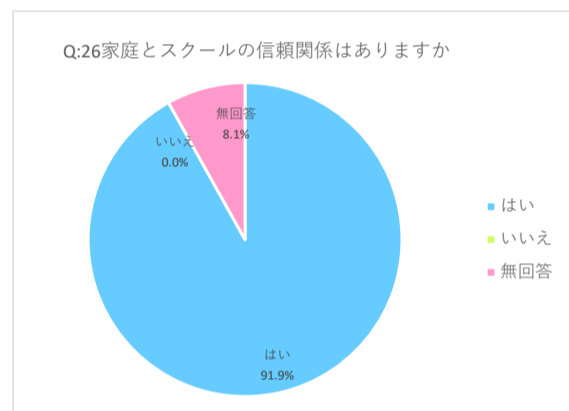
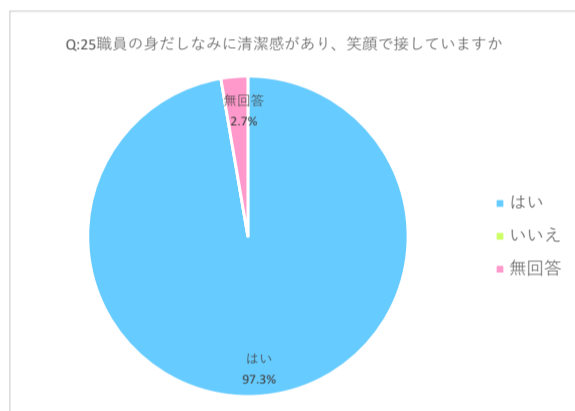
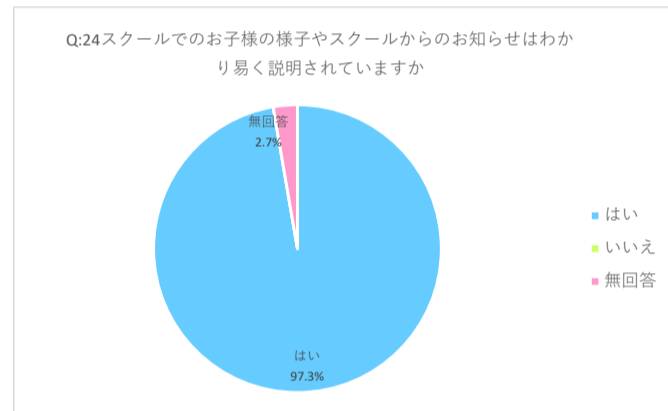
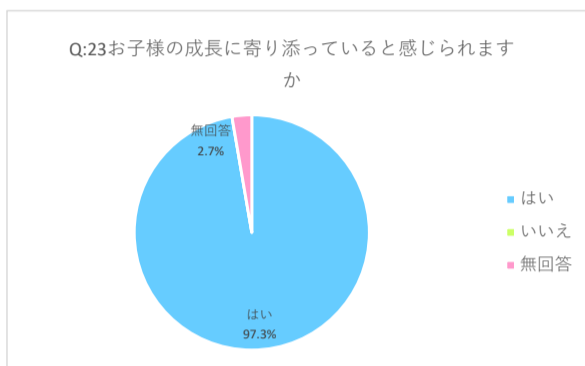
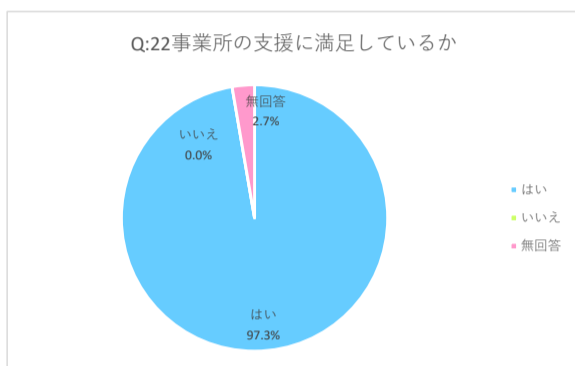
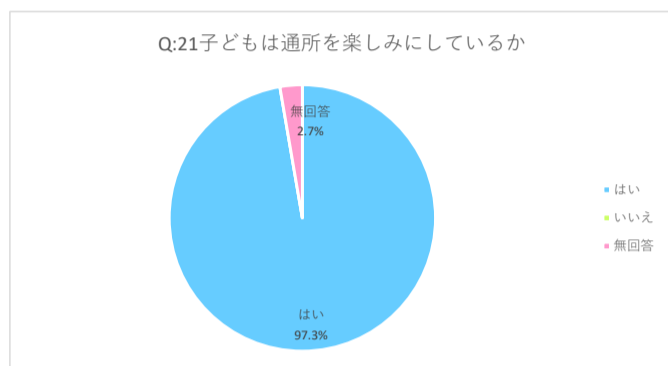
保護者等数(児童数) 38 回収数 37 割合 97.4%

年齢構成	人数	割合
0歳	0	0.0%
1歳	0	0.0%
2歳	0	0.0%
3歳	5	13.5%
4歳	12	32.4%
5歳以上	19	51.4%
無回答	1	2.7%
合計	37	



	チェック項目	割合					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	91.9%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%	・1つの部屋で制作をする子、遊ぶ子など様々だが、中でも自分のやることに集中して取り組めるようになってきている。遊んでいる子がいなくても、気になりながらも制作に取り組むことができていく。 ・若干狭く感じる。他の「どちらともいえない」に〇している分は、よく分からないので「どちらともいえない」にしています。 ・過去には少し支援に心配を感じる方もおられました。今はそのようには感じません。	・基準に則った限りあるスペースであるため、引き続き安全を確保しながら療育室や個室を十分に活用し、今後もプログラム内容を考慮し支援させていただきます。また限られた環境の中での提供についてのご理解、ありがとうございます。 ・支援に関して、ご不安をお掛けし申し訳ございませんでした。職員体制やスキルにつきましては、お子様一人ひとりの見立てをスクール全体で取り組み、そのお子さまにあった支援を心がけておりますので、支援の質の均一化を目指し、今後も徹底してまいります。また今後のお子さまの目標や課題についても、スクール内での共有を徹底してまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	91.9%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	91.9%	8.1%	0.0%	0.0%	0.0%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%		
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	91.9%	2.7%	0.0%	2.7%	2.7%	・定期的にやりとりしてもらえれば、とも思う。 ・もっと保育園と情報共有してもらいたい。	・今年度より園との連携強化を図らせていただいておりますが、まだまだ行き届いていない部分がありました。今後も連携継続に努めますが、お子様の変化やニーズに応じた連携ができる体制作りを図ってまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	89.2%	2.7%	0.0%	8.1%	0.0%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	91.9%	2.7%	0.0%	2.7%	2.7%		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流をする機会があるか	54.1%	18.9%	10.8%	13.5%	2.7%		
保護者への説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94.6%	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%	・グループ活動の日は、先生と話す機会が少ない。 ・貴重なご意見ありがとうございます。グループセッションの振り返り時だけでなく、個別療育時の振り返りや相談支援の活用をしていただければと存じます。相談支援に関しては皆様にご理解頂き、必要であれば利用しやすい仕組み作りを行なってまいります。また、何か気になることがございましたら、お気軽にお声かけください。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	83.8%	5.4%	0.0%	5.4%	5.4%		
	12 保護者に対して家族支援が行われているか	81.1%	10.8%	2.7%	2.7%	2.7%		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	94.6%	2.7%	0.0%	0.0%	2.7%		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	91.9%	2.7%	2.7%	0.0%	2.7%		
	15 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	75.7%	16.2%	2.7%	0.0%	5.4%		
	16 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89.2%	2.7%	0.0%	0.0%	8.1%		
	17 定期的にお便りやスクール内掲示、ホームページ等で、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信されているか	67.6%	21.6%	2.7%	2.7%	5.4%		
	18 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	83.8%	5.4%	0.0%	5.4%	5.4%		
非常時等の対応	19 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	45.9%	24.3%	0.0%	27.0%	2.7%	・非常災害の訓練は毎年9月と3月に職員で行っていますが、実施についての周知を行っていませんでした。今後は掲示やコドモンを活用し発信、共有してまいります。	
	20 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27.0%	18.9%	5.4%	45.9%	2.7%		

	チェック項目	割合			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	いいえ	無回答		
満足度	21 子どもは通所を楽しみにしているか	97.3%	0.0%	2.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも「アートさんはいつ行くの?」「今日は何するか?」などとても楽しみにしています。こちらで作った制作はボロボロになるまで遊んでいて、コレクションとして部屋に並んでいます。自分で作ったことがとても嬉しいようで、「自分でこうやって作ったよ!」と教えてくれます。</li> <li>・鉛筆の持ち方とお箸の持ち方とを兼ねて教えて頂ける方法は、とても驚いています。</li> <li>・支援計画に沿った活動ができていくかよく分からない。子供が伸びているのか、実感として分からない。先生が次々変わるので相談しにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみに来所されていること、制作したおもちゃをご家庭でも大事にしてくださっていること、改めて嬉しく職員一同感謝しております。</li> <li>・支援計画に沿った活動内容やねらいを設定しておりますが、各セッション時にもお子様の成長や変化を丁寧に伝えて参ります。また、職員のローテーションの良さは多角的な視点で子どもの育ちを支えることですが、必要に応じてローテーションの人数を制限していくことで相談しにくさの軽減に繋がればと思いますので、お気軽にご相談ください。</li> </ul>
	22 事業所の支援に満足しているか	97.3%	0.0%	2.7%		
その他	23 お子様の成長に寄り添っていると感じられますか	97.3%	0.0%	2.7%		
	24 スクールでのお子様の様子やスクールからのお知らせはわかり易く説明されていますか	97.3%	0.0%	2.7%		
	25 職員の身だしなみに清潔感があり、笑顔で接していますか	97.3%	0.0%	2.7%		
	26 家庭とスクールの信頼関係はありますか	91.9%	0.0%	8.1%		
	27 けがのとき、明確な説明が受けられていますか（けががない場合は、はいor未回答可）	75.7%	2.7%	21.6%		



\*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。